令和８年度　社会福祉法人かすみが丘学園
障害者支援施設ライフかすみ　地域連携推進会議 議事録

■開催日時・場所

- 日時　2026 年 9 月 17 日(木)　14:00～16:00
- 場所　障害者支援施設ライフかすみ　スタッフルーム

■出席者

- 利用者代表
- 保護者代表(保護者会会長)
- 地域関係者…女形谷地区区長、女形谷地区福祉委員、往診クリニック院長、坂井市社会福祉協議会まるおか支部職員
- 法人側…常務理事、法人事務長、ライフかすみセンター長、ライフかすみ副センター長 2 名

■会議次第

1. 施設内見学
2. 開会のあいさつ
3. 会議の趣旨説明
4. 構成員の紹介(出席者の自己紹介)
5. ライフかすみの紹介・説明
   施設概要/利用者代表の紹介/取り組み紹介
6. 質問・意見交換

■会議概要

１.施設内見学

・20 分程度、利用者の日中活動の様子や生活スペースの一部を見学。

２.開会のあいさつ

・常務理事より：創立 60 周年を迎え 10 月 17 日に記念イベントを開催予定であること、参加者から忌憚のない意見をいただきたいことを説明。

3.会議の趣旨説明

・ライフかすみセンター長より、利用者が地域の中で豊かに過ごせるよう地域の方々に施設や利用者への理解を深めていただき、温かい支え合いの関係を築くこと、外部からの視点を取り入れることで、サービスの透明性と質の高さを確保し、利用者の権利を守り安心

安全な生活につなげることで、地域とのつながりや絆づくりを図りたい旨説明あり。また、意見交換の視点として、権利擁護に関すること(サービスの透明性、質)地域連携交流(ボランティア受け入れ、地域行事への参加など双方向の交流促進)の他、地域共生社会推進に必要なことが挙げられた。なお、会議で知り得た個人情報やプライバシーは保護すること、いただいたご意見や助言は議事録としてまとめ、ホームページ等に掲載することの了解をいただいた。

4. 構成員の紹介
出席者が、各自自己紹介を行った。

5.ライフかすみの紹介・説明
ライフかすみ副センター長が、当学園の沿革、提供サービス、居室構成、利用者の障害支援区分、職員体制、一日の日課、年間行事、事業計画、実施している研修等を説明。続いて、利用者代表より、かすみが丘学園でのこれまで及び今の生活について楽しかったことや大変だったこと、この一年間の変化・できるようになったこと・これから挑戦してみたいことを、インタビューを通じで回答してもらう。また、取り組み紹介として、ライフかすみセンター長より利用者 K さんの地域サロン活動事例報告を行う。(支援の考え方、女形谷サロンへの参加経緯と目的、K さんの変化、地域に対しての今後の要望等)

6.質問・意見交換
①福祉委員より（K さんが利用中の女形谷サロン活動について下記補足説明あり）
- サロンは月 1 回、第 3 月曜日に開催(カレンダー通り)。8 月は、女形谷の夏祭りで民謡を踊るため民謡練習を主に実施しており、例外的に第 3 月曜日ではなく前週の水曜日(12 日)に開催。K さんには事前に日程変更を伝えたところ、「お盆で帰省するから来れない」と返答があり、来ないと思っていたが、実際には参加された。
- K さんは出されたお菓子や飲み物を時間内に食べたりして、職員がいないところでの世界の中で、K さんなりの楽しみ方をしている。
- 何回か顔を合わせてリズムができてきたので、どういう話題で接したらいいかが分かってきた。
- サロンの準備時間(8 時半~9 時頃)に来て、机出しや椅子出しなどの力仕事をお願いすることも可能かと感じた。

②女形谷区長（地域との連携について下記意見表明あり）
- 単年の区長として、このような機会を与えていただき、地元にいながら見えていなかった部分が見えるようになったのは非常に良いこと。
- 家内はサロン立ち上げ当初からスタッフとして参加。令和 6 年に K さん受け入れの相談を受けた際、「一回でも二回でもやってみて、サロンの目的と K さんの思い

が叶わないと続かない」と考えたが、今も続いていることを聞いて納得。
- お互いの協調があれば良い。K さんの今後の人生の中で、まだ若いので、それが糧になるなら、できることは何でもやってあげたら良い。

③坂井市社会福祉協議会（社協からの情報提供として下記説明あり）
- 他の事業者で近隣サロンにお邪魔してお手伝いする例はあまり聞いたことがない。
- 丸岡町内の障害福祉サービス事業所などは、地域の活動者のボランティアが結構出入りしており、見守りボランティアなどを実施。
- 今年度、当学園にボランティア団体「コスモス」が傾聴ボランティアとして来ている。
- 丸岡には民謡をボランティア活動でやられている団体もおり、当学園の利用者との交流も良いのではないか。
- 社協が派遣調整できる講師のリストを参考資料として持参。
- 足さえあれば、女形谷サロン以外にも丸岡町内の他のサロンにお邪魔して運営のお手伝いに行ったり、高齢の方なら普通に参加者として楽しんでいただくことも斡旋できる。相談いただければ対応可能。

④往診クリニック院長（医療面での連携について）
- 障害支援区分 6 の方が 30 人以上おり、医療ケアが必要な方が多いのではないか。介護職員の数が充足できているか気になる。
- 常勤看護師が 2 人。嘱託医は精神系の先生が適切だが、内科的疾患・身体的疾患への受診も必要。
- 介護士の充足については手伝えないが、医療面でのサポートは可能。
- 受診の多くは薬をもらうのがメインで、検査や診察がほとんどない場合も多い。朝一番で来て長時間待ち、診察 3 分、薬を取るのに 1 時間待たされ、夕方前に帰ってくるような状況。そのような方がまとまって、クリニックに来てもらうことも可能。受診日は限定されるが、時間はほとんどかからない。
- 具体的には、主治医に「通院が大変なので近くで出してもらっていいか」と一言聞けば大丈夫。例:3 ヶ月に 1 回大きい病院で検査、1 ヶ月に 1 回は近くのクリニックで薬をもらうとか、半年に 1 回は病院に行き、それ以外の 1 ヶ月に 1 回はクリニックで薬を出す形も可能。
- 大きな病院(県立病院、大学病院、済生会など)の主治医に「通院が難しくなってきたので近くで出してもらっていいか」と相談すれば、落ち着いている患者であれば「いいですよ」と言ってくださるはず。逆に、ふるさと往診クリニックで診ていて「おかしい」と思えば、紹介状を書いて主治医に受診調整する。

⑤保護者代表（以下の感想あり）
- 長男が 30 年ほどお世話になっている。生まれは福井市だが、長男の養護学校卒業後、どうしてもこちらに入れたいと思い、入所させていただいた。そのおかげで仕

事も定年まで無事やれた。本当に感謝している。

- できる限り代表として、外部と連絡を密にして、利用者の皆様が安心して安全に生活できるよう努力していきたい。

■その他

- 本日の会議内容は議事録としてまとめ、ホームページに掲載予定。
- 今後も地域との繋がりを深め、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく